

## 平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月8日

上場会社名 株式会社 ハーバー 研究所 上場取引所 JQ  
 コード番号 4925 URL <http://www.haba.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小柳 昌之  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部・経理部担当ディレクター (氏名) 鍋島 厚 TEL 03-5219-5660  
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月14日

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績 (平成20年4月1日～平成20年6月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	2,480		27		14		6	
20年3月期第1四半期	2,568	5.5	89		98		173	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	1.70	
20年3月期第1四半期	58.87	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	10,329	4,817	45.9	1,204.62
20年3月期	10,482	4,900	46.0	1,226.21

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 4,738百万円 20年3月期 4,823百万円

### 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期				20.00	20.00
21年3月期				20.00	20.00
21年3月期(予想)				20.00	20.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成21年3月期の連結業績予想 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	5,240	2.8	152	382.6	140	620.5	60		15.25
通期	11,500	4.1	835	22.5	800	24.3	380	26.7	96.59

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

### 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
 新規 社(社名 ) 除外 社(社名 )
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他 をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの  
 会計基準等の改正に伴う変更 有  
 以外の変更 無  
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他 をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)  
 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 3,935,000株 20年3月期 3,935,000株  
 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 1,000株 20年3月期 1,000株  
 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 3,934,000株 20年3月期第1四半期 2,954,000株

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループが判断したもので、為替変動等の潜在的なリスクや不確実性が含まれています。この影響のため、実際の業績が記載の見通しとは異なる可能性があります。
- 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しています。また、「四半期連結財務諸表等規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しています。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期の当社グループ連結売上高は、2,480,056千円（前年同期比96.6%）となりました。

本年度は、例年5月から始める夏のキャンペーンを短期集中型の効果を狙って6月から開始、キャンペーンによる売上げ増が、6月の1ヶ月間しか寄与しませんでした。前第1四半期では、美顔器「イオンマイエステ」の新発売があり、当第1四半期では巡航ペースに落ち着いてきております。

一方、栄養補助食品のうち、4月より新発売したダイエット用クッキー「カリカリクッキー」は好調で53,922千円の売上をあげています。

販売ルート別には、主力の通販売上が、個人消費の伸び悩みや前出のキャンペーン適用期間の短縮化などから売上単価が落ち、1,730,519千円（前年同期比96.3%）となりました。

売上原価は、工場増設などに伴う減価償却費の増加や原材料価格の上昇などの影響により、543,185千円（前年同期比109.3%）となっています。

広告販促活動では、第2四半期以降に積極的なプロモーションを実施する予定で、当第1四半期では、487,754千円（前年同期比61.3%）となり、販売費及び一般管理費は、1,909,070千円（前年同期比88.3%）となりました。

これらの結果、営業利益は27,799千円（前年同期実績△89,133千円）、経常利益14,448千円（前年同期実績△98,292千円）、当第1四半期純損失は6,676千円（前年同期実績△173,906千円）となりました。

#### 品目別実績

（単位：千円）

区分	【参考】 平成19年6月期		平成20年6月期		増減額	増減率	
	金額	構成比	金額	構成比			
化粧品	基礎化粧品	1,720,341	67.0	1,604,181	64.7	△116,160	△6.8
	メイクアップ化粧品	316,917	12.4	334,681	13.5	17,763	5.6
	トイレットリー	85,560	3.3	85,927	3.5	366	0.4
	その他（注）1	3,278	0.1	311	0.0	△2,967	△90.5
	小計	2,126,098	82.8	2,025,101	81.7	△100,997	△4.8
栄養補助食品・雑貨等	400,412	15.6	414,883	16.7	14,470	3.6	
化粧品・栄養補助食品等 小計	2,526,511	98.4	2,439,984	98.4	△86,527	△3.4	
その他（注）2	42,080	1.6	40,071	1.6	△2,008	△4.8	
合計	2,568,591	100.0	2,480,056	100.0	△88,535	△3.4	

（注）1. 期間を限定して提供するキャンペーンセット品等が主なものです。

2. ハーバーガーデン（ゴルフ練習場、カルチャーセンター等）等の売上が主なものです。

3. 上記の金額には、消費税等は含まれていません。

#### 販売ルート別実績

（単位：千円）

区分	【参考】 平成19年6月期		平成20年6月期		増減額	増減率	
	金額	構成比	金額	構成比			
販売ルート	通信販売	1,797,891	71.1	1,730,519	70.9	△67,371	△3.7
	百貨店向卸売	333,418	13.2	310,005	12.7	△23,412	△7.0
	その他卸売	194,076	7.7	195,140	8.0	1,063	0.5
	直営店	201,125	8.0	204,319	8.4	3,193	1.6
	合計	2,526,511	100.0	2,439,984	100.0	△86,527	△3.4

（注）1. 上記の合計表には、ハーバーガーデン等の売上は含まれていません。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれていません。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は売掛金の減少等により10,329,195千円になり、前連結会計年度末と比較して153,565千円の減少となりました。また、負債合計は未払法人税等の減少等により5,511,709千円となり、前連結会計年度末と比較して70,599千円の減少となりました。

純資産は剰余金の配当等により4,817,485千円となり、前連結会計年度末と比較して82,965千円の減少となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、38,126千円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益13,228千円、減価償却費112,161千円、売上債権の減少139,564千円等による増加とたな卸資産の増加208,690千円等による減少によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、122,111千円となりました。これは主に、工場の生産設備の購入等による有形固定資産の取得による支出129,458千円等です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、86,175千円となりました。これは主に、配当金の支払額69,452千円等によるものです。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期の業績予想につきましては、第2四半期以降に積極的な販促を行うことや新発売の「カリカリクッキー」の取り組みが本格化することから平成20年5月23日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しています。

②固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却費の算出は、年間償却予定額を期間按分して算定しています。

③税金費用の計算

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっています。

また、一部の連結子会社においては、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しています。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しています。

②たな卸資産の評価基準及び評価方法の変更

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっていましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しています。

これによる損益に与える影響はありません。

③「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

当第1四半期連結会計期間により、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を適用し、連結決算上必要な修正を行っています。

これによる損益に与える影響はありません。

#### ④リース取引に関する会計基準の適用

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっていましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号（平成5年6月17日（企業会計審議会第一部会）、平成19年3月30日改正））及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号（平成6年1月18日（日本公認会計士協会 会計制度委員会）、平成19年3月30日改正））が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、当第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっています。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しています。

なお、リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しています。

これによる、損益に与える影響はありません。

5【四半期連結財務諸表】  
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る要約 連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,288,236	2,474,641
受取手形及び売掛金	896,809	1,038,038
商品	695,365	607,218
製品	63,990	38,767
原材料	534,789	464,102
仕掛品	88,466	61,632
繰延税金資産	132,619	127,731
その他	206,283	217,666
貸倒引当金	8,365	9,628
流動資産合計	4,898,194	5,020,170
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,125,498	3,071,857
減価償却累計額	950,645	909,610
建物及び構築物(純額)	2,174,852	2,162,247
機械装置及び運搬具	909,110	903,801
減価償却累計額	512,786	483,721
機械装置及び運搬具(純額)	396,323	420,079
工具、器具及び備品	563,959	552,201
減価償却累計額	370,090	347,043
工具、器具及び備品(純額)	193,868	205,158
土地	1,877,725	1,866,712
建設仮勘定	28,494	34,675
有形固定資産合計	4,671,263	4,688,873
無形固定資産		
その他	189,028	201,150
無形固定資産合計	189,028	201,150
投資その他の資産		
繰延税金資産	96,206	90,299
その他	489,550	497,317
貸倒引当金	15,050	15,050
投資その他の資産合計	570,707	572,566
固定資産合計	5,431,000	5,462,589
資産合計	10,329,195	10,482,760

(単位：千円)

前連結会計年度末に係る要約  
連結貸借対照表  
(平成20年3月31日)

当第1四半期連結会計期間末  
(平成20年6月30日)

<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	448,950	313,915
短期借入金	1,773,640	1,562,640
1年内返済予定の長期借入金	624,262	695,860
未払金	565,944	664,437
未払法人税等	28,877	89,302
賞与引当金	37,887	82,645
ポイント引当金	128,391	127,913
その他	131,828	116,818
流動負債合計	3,739,781	3,653,532
固定負債		
長期借入金	1,523,012	1,677,626
退職給付引当金	63,660	60,527
役員退職慰労引当金	151,741	150,389
その他	33,513	40,233
固定負債合計	1,771,928	1,928,776
負債合計	5,511,709	5,582,309
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	696,450	696,450
資本剰余金	812,570	812,570
利益剰余金	3,226,665	3,312,022
自己株式	400	400
株主資本合計	4,735,285	4,820,642
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,335	94
為替換算調整勘定	5,027	3,160
評価・換算差額等合計	3,691	3,255
少数株主持分	78,508	76,553
純資産合計	4,817,485	4,900,451
負債純資産合計	10,329,195	10,482,760

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
売上高	2,480,056
売上原価	543,185
売上総利益	1,936,870
販売費及び一般管理費	1,909,070
営業利益	27,799
営業外収益	
受取利息	457
受取配当金	217
受取賃貸料	11,279
その他	1,722
営業外収益合計	13,677
営業外費用	
支払利息	17,182
その他	9,846
営業外費用合計	27,028
経常利益	14,448
特別利益	
貸倒引当金戻入額	1,262
債務免除益	2,517
特別利益合計	3,779
特別損失	
賃貸借契約解約損	5,000
特別損失合計	5,000
税金等調整前四半期純利益	13,228
法人税、住民税及び事業税	21,611
法人税等調整額	5,398
法人税等合計	16,213
少数株主利益	3,691
四半期純損失( )	6,676

## ( 3 ) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

( 単位：千円 )

当第1四半期連結累計期間  
( 自 平成20年4月1日  
至 平成20年6月30日 )

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	13,228
減価償却費	112,161
引当金の増減額 ( は減少 )	41,057
受取利息及び受取配当金	674
支払利息	17,182
売上債権の増減額 ( は増加 )	139,564
たな卸資産の増減額 ( は増加 )	208,690
仕入債務の増減額 ( は減少 )	135,256
未払債務の増減額 ( は減少 )	43,596
未払又は未収消費税等の増減額	25,951
その他	6,967
小計	142,357
利息及び配当金の受取額	658
利息の支払額	15,511
法人税等の支払額	89,809
法人税等の還付額	431
営業活動によるキャッシュ・フロー	38,126
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の増減額 ( は増加 )	13,764
有形固定資産の取得による支出	129,458
無形固定資産の取得による支出	4,937
長期前払費用の取得による支出	526
差入保証金の差入による支出	198
その他	755
投資活動によるキャッシュ・フロー	122,111
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 ( は減少 )	211,000
長期借入金の返済による支出	226,212
割賦債務の返済による支出	1,511
配当金の支払額	69,452
財務活動によるキャッシュ・フロー	86,175
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,494
現金及び現金同等物の増減額 ( は減少 )	172,655
現金及び現金同等物の期首残高	2,422,158
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,249,503



当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しています。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しています。

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金額(千円)
I 売上高	2,568,591
II 売上原価	496,860
売上総利益	2,071,731
III 販売費及び一般管理費	2,160,864
営業損失(△)	△89,133
IV 営業外収益	15,892
受取利息	368
受取配当金	381
受取賃貸料	13,911
その他	1,232
V 営業外費用	25,052
支払利息	17,801
賃貸関連費用	4,791
その他	2,459
経常損失(△)	△98,292
VI 特別利益	6,328
貸倒引当金戻入益	1,048
投資有価証券売却益	5,280
VII 特別損失	2,569
投資有価証券売却損	445
たな卸廃棄損	2,123
税金等調整前四半期純損失(△)	△94,533
法人税、住民税及び事業税	70,236
少数株主利益	9,136
四半期純損失(△)	△173,906

## (2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△94,533
減価償却費	69,888
引当金の減少額	△34,923
受取利息及び受取配当金	△749
支払利息	17,801
投資有価証券売却損益	△4,834
売上債権の減少額	108,104
たな卸資産の増加額	△102,865
仕入債務の減少額	△78,864
未払債務の増加額	17,209
未収及び未払消費税等の増減額	△25,167
その他	24,220
小計	△104,713
利息及び配当金の受取額	629
利息の支払額	△19,404
法人税等の支払額	△218,072
営業活動によるキャッシュ・フロー	△341,560
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の純増加額	△3,300
投資有価証券の取得による支出	△499
投資有価証券の売却による収入	36,578
有形固定資産の取得による支出	△270,474
無形固定資産の取得による支出	△85,017
長期前払費用の支出	△1,630
差入保証金の差入による支出	△5,513
差入保証金の返還による収入	150
その他	△595
投資活動によるキャッシュ・フロー	△330,302
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増加額	155,667
長期借入れによる収入	60,000
長期借入金の返済による支出	△131,816
割賦債務の支払額	△2,426
配当金の支払額	△53,964
財務活動によるキャッシュ・フロー	27,459
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△396
V 現金及び現金同等物の減少額	△644,799
VI 現金及び現金同等物の期首残高	3,132,467
VII 現金及び現金同等物の期末残高	2,487,668